

「年賀はがき」の寄付

12月11日、日本郵便（株）様から、市内小学校の全児童を対象に、年賀はがき5,900枚の寄付をいただきました。

これは、市内の協力事業所が地域貢献として購入した年賀はがきを贈呈したもので、授業などで家族へ年賀状を書いてもらい、手紙やはがきの楽しみや喜びを体験して欲しいとの思いが込められています。



左から大山孝雄協和桑山郵便局長、赤荻利夫教育長、住吉伸治明野郵便局長、赤羽保浩関城郵便局長、石橋徳雄下館西方郵便局長、大林均下館折本郵便局長、浅野昌伯下館郵便局長

「地域の未来応援債」でタブレットの寄付

12月19日、（株）筑波銀行（生田雅彦代表取締役頭取）様から、寄贈サービス付私募債「地域の未来応援債」により、タブレットPCを寄付していただきました。

私募債を発行し、寄付先として筑西市を指定していただいた企業は（株）布屋（布目操代表取締役社長）様です。タブレットは、今後イベントなどで市のPR



左から関紀良経済部長、布目代表取締役、助川喜昭筑西支店長



寄贈されたタブレットは市のPRに活用します。

に活用させていただきます。新成人に手作りの紙すき絵はがきの贈呈

12月19日、筑西市地域女性団体連絡会（野澤和子会長）様から、新成人に物を大切にする心を伝えるため、牛乳パックを再利用した手作りの紙すき絵はがき1,400枚が贈呈されました。「成人の記念に、この絵はがきを使用し、大切な人に想いを伝えて欲しい」と野澤さん。



贈呈された絵はがきは、成人式当日に配布されました。

筑西の「おいしい」を全国に

12月23日、筑西市観光協会（鈴木勝家会長）主催の市優

良産品審査委員会が開かれ、協会員の中から36社89品目が認定されました。このうち、新規に申請した事業者は5社あり、10品目が新たに認定されました。

この審査会は、地元産品の販売促進、市内企業の振興や市場の拡大、観光協会の発展を目的として、2年ごとに開催されています。選ばれた商品は、優良産品推奨のシールが貼付され、協会が発行するパンフレットに掲載されます。



筑波山の山頂から朝日が昇る「ダイヤモンド筑波」。今年も来場者に「おもてなし」を実施します。天気が良く風が無いなど条件がそろえば、水面に反射して映る「ダブルダイヤモンド筑波」も見られます。

早朝、凜とした空気の中で繰り広げられる幻想的な光景をぜひ体感してみませんか。

- 開催日 2月15日（土）
- 場所 母子島遊水地
- 内容 決まり次第、観光協会HPなどでお知らせします。

観光振興課（おもてなし） ☎20-1160
企画課（ちゅくたぐ） ☎24-2197



申請のあった地元産品を、ひとつひとつ実食しながら審査する委員のみなさん。

